

歌ノレノ래 156『むくげ通信』246号 2011.5.29

## 『赤い夕焼け』<sup>』</sup>

山根 俊郎

### 韓国新しい高校音楽教科書

私は、毎日パソコンで「朝鮮日報／朝鮮日報日本語版」を楽しく読んでいる。2月24日のある記事に釘付けになった。韓国は3月から新学期が始まるが、検定を通過した新しい高校音楽教科書（3社）に初めて大衆歌謡が載せられたという。

#### K-POP、韓国教科書にも進出

『赤い夕焼け』『僕は知っている』…歌で学習意欲アップ

「僕は君を愛してる この世は君だけ / 叫んでも  
叫んでも 答えてくれない 夕焼けだけが 赤く燃  
えて…」

歌手イ・ムンセ( )が歌い、アイドルグループのBIGBANGがカバーした「赤い夕焼け」が教科書に掲載されることになった。韓国は3月が新学年のスタート。新年度に全国の高校で使用される改訂音楽教科書3種のうち、図書出版テソン社の「高等学校音楽」第6单元「わたしたちの時代の音楽」に収録されるのだ。作曲家イ・ヨンファン（1953年～2008年死去）が作詞・作曲、1988年リースのイ・ムンセ5thアルバムに収録されている「赤い夕焼け」は、20年後にBIGBANGがカバーしたことから、幅広い世代に愛されている。

昨年7月に教育科学技術部（省に当たる）の検定を終えたテソン社の音楽教科書は、「大衆音楽の世界へ」という小单元で1920年代の大衆音楽誕生期から2000年代のダンスマジックやアイドルグループの出現までの歴史を簡単に説明している。ユン・シムドク、イ・ミジャ、サンウルリム（「こだま」の意）、チョー・ヨンピルら韓国を代表する歌手たちに言及しているほか、「イ・ムンセが歌った1988年の『赤い夕焼け』と、BIGBANGが2008年にカバー

した『赤い夕焼け』を比べてみよう」と楽譜を掲載している。

またパクヨン社の音楽教科書も、小单元「わたし私たちの大衆歌謡」でユ・ヨンソクの「四角の夢」、グループ「ノレルル チャンヌン サラムドゥル（歌を探す人々）」の「四季」を掲載した。金星出版社の教科書では、パク・チュンソクの「アリラン牧童」とソテジの「僕は知っている」など、多彩なジャンルの大衆音楽を収録している。

教育科学技術部のイ・デヨン報道官は「これまでの音楽教科書はクラシックや歌曲だけで生徒たちが興味を持てなかつた。しかし、今は大衆音楽の学問的な価値が上がり、教科書作成者たちも学習意欲をかき立てようと努力している」と話している。



俞碩在（ユ・ソクチエ）記者 朝鮮日報／朝鮮日報日本語版

私は、さっそく「朝鮮日報」の原文を探した。記事入力：2011/02/24 03:12

見出しが、さすがに「K-POP・」ではなく「これらの音楽、教科書に載った」『赤い夕焼け』『僕は知っている』・歌謡で学習動機を誘発'である。

## 高校音楽教科書の購入

なんとか現物を見たいと思い、韓国を頻繁に訪れているポッタリアジュマ（失礼！）の足立女史にお願いすると、快く買っていただいた。（感謝！感謝！）こうして3種類の高校の改訂音楽教科書（2010年7月教科部検定）が手に入った。

図書出版テソン社の「高等学校音楽」2180ウォン  
2011.3.1初版

（株）パクヨン社の音楽教科書 1480ウォン  
2002.3.1初版, 2011.3.1 5刷

（株）金星出版社の教科書 2210ウォン  
2011.3.1初版

## 図書出版テソン社の「高等学校音楽」

今回は新聞に大きく取り上げられた 図書出版テソン社の「高等学校音楽」の記述を翻訳する。

### 6わたしたちの時代の音楽

#### 6.1大衆音楽の世界へ（P152～P153）

大衆音楽という大衆媒体を通じて大衆に伝播した音楽様式を総称する言葉である。既に大衆音楽は芸術音楽とともに国と世代を飛び越える音楽として受容されている。この単元では大衆音楽のジャンルと歴史を理解して多様な大衆音楽の特徴と粹を感じてみる。

1 大衆音楽のジャンルについての説明文を読み、そのジャンル名を写真から探して連結してみよう。  
ロック、ブルース、ヒップホップ、ヘビーメタル、  
レゲー、テクノ、ジャズなど（説明文は省略）

2 わが国の大衆音楽の流れと時代別特徴を見てみよう。（P154）（各歌手の写真があるが省略）  
1920年代 大衆歌謡の誕生 「流行唱歌」が商業的音盤に作られて大衆歌謡が誕生した。

『死の贊美』尹心惠（山根注：1926年）  
(山根注：1930年代～50年が記述されていない)  
1960年代 トロット全盛時代 1930年代に入ってきたトロットが全盛期を迎える。

『椿むすめ』李美子（山根注：1964年）  
1970年代 フォークソングとトンギター（ギター弾き語り）文化 青年文化の胎動と共にフォークソングとトンギター文化が発達した。

『もうすでに』サンウルリム（山根注：1978年）

1980年代 多様なジャンルの定立 1970年代音楽の力動性が多様なジャンルの音楽（ロック、バラード、フォークロック、ディスコ、アンダーグラウンド）に発達した。

『友よ』趙容弼（山根注：1984年）

1990年代 ダンス音楽の急浮上 新世代歌手たちの登場と大衆媒体の発達により多様なジャンルの大衆歌謡が発達して、その中でもダンス音楽が急浮上した。『僕は知っている』ソテジと子供たち（山根注：1992年）

2000年代 ダンス音楽の発達、アイドルグループ出現 ヒップハップ、ラップ、レゲー、テクノ等の要素が強いダンス音楽が発達して大衆音楽を享有する年齢層が非常に低くなり、アイドルグループが大衆音楽の大きな流れを占めるようになる。『Gee』少女時代（山根注：2009年）

少しもっと 李文世（イ・ムンセ、88年）とピックパン（08年）が歌う『赤い夕焼け』を聴き比べて時代の差異による音楽的特徴を比較してみよう。V30～31

『赤い夕焼け』の楽譜（P155）

赤く染まる夕焼けを仰ぎ見れば  
悲しい君の顔が思い出されてうなだれる  
涙が流れて何も言えないが

\* 1 僕は君を愛してる この世は君だけだ  
叫んでも 叫んでも 答えてくれない  
夕焼けだけが 赤く染まっている

\* 2 歳月の中に忘れなければならない記憶が再び  
よみがえれば瞼を閉じて  
声をひそめてその名前を呼ぶ  
美しかった君の姿を  
再び見られないのは分かっている  
後悔しないあの燃える夕焼け  
赤い夕焼けのように

\* 1  
どこに行ったのか  
愛した悲しい君の顔が見たい  
深い愛に後悔しないあの夕焼けのように  
\* 1、 \* 2、 \* 1、 \* 1

次回は、他の教科書の記述を見てみたい。（終）